

令和7年度 鳥取県作業療法士会 理事会立候補者一覧

(敬称略・掲載は立候補届の受理順です)

理事候補	原田 伸吾	株式会社つむぎ
	平成29年より当会の理事を務めさせていただいており、倫理委員長と地域包括ケアシステム対策委員の東部推進リーダーを担当させていただいております。倫理委員会に関しては、専用の相談メールアドレスを作成しております。ハラスメント等で悩まれたり困られたりした際はご連絡ください。また、地域包括ケアシステムに関しては、高齢者だけではなく、こどもから高齢者まで全ての方が、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けられるという、地域共生社会の構築という考え方に広がってきております。2040年に向けて、国や県、市町村すべてが、総合事業や一体的実施事業などを、より一層加速して進めていこうとしています。その中で、作業療法士の参画が求められていると非常に強く感じます。こうした流れの中で、より多くの作業療法士が活躍できる機会を増やすために尽力したいと思っていますので、何卒よろしくお願い致します。	

理事候補	高梨 悠一	YMCA米子医療福祉専門学校
	学術部の大きな仕事として県学会の運営がありますが、近年の成果としては皆様の協力のおかげで数年先の学会長候補を選出できている状況です。また県学会運営がスムーズにいくように数年前より次期学会長、実行委員長候補にはオブザーバとして当年の県学会実行委員会に出席できる制度なども設けました。 さて、これまで学術部長として3期務めました。立候補する最大の理由は「役員選挙を実現したい」という思いからです。これまでは役員選挙が成立していなかったため立候補すれば当選という形になっていましたが、やはり民主的に選ばれるのが本来の姿だと思うからです。 当選した際は1人でも多くの県士会員が県士会の存在や学会などの活動に興味を持てるような県士会にしていきたいと考えております。	

理事候補	土井 宣幸	鳥取県済生会介護老人保健施設はまかぜ
	このたび、令和7年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に立候補させていただきました。土井宣幸と申します。鳥取県作業療法士会の理事として15年近く携わらせていただいております。これまで、保険委員会、法人化準備委員会、規約委員会、MTDLP委員会、副会長等様々な役割を担ってきました。これまでの活動を振り返ると作業療法士への地域からの期待は年々高まってきており活躍の場も多岐にわたっています。それらに答えられるように人材育成、体制強化に努めてまいりました。さらにこれからは、我々の処遇改善をはじめとする作業療法士の地位向上の必要性を今まで以上に感じております。様々な課題が山積しておりますが、今までの経験を活かし、会員の皆様の協力の基、鳥取県作業療法士会の発展のお手伝いができればと考えています。よろしくお願い申し上げます。	

理事候補	田住 秀之	YMCA米子医療福祉専門学校
	これまで5期10年間、理事として主に認知症・メンタルヘルスケア推進委員長を務めてきました。急務である認知症に対応できる人材育成については、100名を超える認知症研修修了者を登録することができ、県下における認知症初期集中支援チームや介護・認知症予防の事業協力、認知症のひとと家族の会への派遣協力など、県士会として関係機関との連携強化と新規事業協力につなげることが出来ました。 今後も認知症支援に関する事業を進めつつ、新たにメンタルヘルスケアに関連する精神医療、司法領域、重層的支援体制整備、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについても重点課題として取り上げ、作業療法士の強みを生かせる機会創出に取り組みたいと考えております。そして、作業療法士会が“生きづらさを抱える誰もが暮らしやすい街づくり”に貢献できるよう実績を積み上げ、地域との関係構築につなげていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。	

理事候補	平野 正樹	錦海リハビリテーション病院
	この度、鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に2期目の立候補させていただきます。平野正樹と申します。令和5年からの1期の期間は、主に災害リハビリテーション支援の研修会や鳥取JRATの活動に従事してまいりました。鳥取県では、令和5年から本格的に地域JRAT組織化成立し、令和6年能登半島地震の際も鳥取JRATチームの迅速な派遣が可能となりました。しかし、作業療法士の鳥取JRATへの参加（名簿）登録者は、まだまだ少ない状況です。今後、鳥取県でも大規模災害、局地災害が起こる可能性が高いと言われています。 これからどのような準備をしてそれに備えるべきか、専門職種として何ができるのか、その基盤づくりに尽力したいと思い立候補いたしました。何卒よろしくお願い申し上げます。	

理事候補	川上 紘司	社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
	この度、鳥取県作業療法士会の役員候補者選挙に立候補させていただきます。社会福祉法人 こうほうえん 錦海リハビリテーション病院で訪問リハビリテーションに所属しています川上紘司と申します2期目の立候補となります。 1期目は、教育副部長を務めさせていただきました。必須である生涯教育制度での共通、選択研修や臨床実習指導者講習会の実施等について携わせてもらいました。臨床実習指導者講習会では、県士会員の皆様のご協力を頂き、久しぶりに対面研修を行うことができ、対面研修の良さを改めて感じました。また、理事においては、県士会の組織や運営について学ばさせていただきました。 引き続き、今後も未来に向けて、鳥取県作業療法士会の発展や後輩育成に携わりたいと思い、私自身も作業療法士、人間として成長していきたいと考えております。よろしくお願い致します。	

理事候補	小山 雅之	SOI STANCE
	今回4期目の立候補となります。これまでの3期6年間は、事業部として主に総会后研修会、中国ブロック研修、訪問リハ実務者研修会、福祉用具相談支援事業の運営等に携わせて頂きました。また、事業部では新たな事業や単年度での事業を担う機会が多く、それに伴い作業療法士以外の方々とやり取りをする機会があり、そのことは自身にとっても良い経験となっています。自身3期目より開始となった福利厚生については、新入会員対象とした事業を行いました。まだ始まったばかりで認知度も低い状況です。理事として、今後も上記の事業について引き続き進行していきたいと考え、立候補しました。	

理事候補	西村 純一	医療法人 共済会 清水病院
	令和2年より2期連続して、鳥取県作業療法士会の総会議事運営委員会、選挙管理委員会の活動に取り組ませていただきました。世間一般では各団体における研修会等は賑わいを取り戻しつつありますが、以前のような活発さが失われていると感じるのは、私個人だけではないはずです。日常の作業療法業務、自己研鑽等の意欲向上への働き掛けは、他の作業療法士や他業種からの刺激も影響すると思います。「全社員が県士会の今後の方針やビジョンを共有する場」である社員総会は、作業療法士同志の交流を図る事ができる貴重な場です。そのため、社員総会を交流の場として発展させ、皆様の人的交流、体外活動に寄与したいとの想いがあります。また、鳥取県作業療法士会自体を身近に感じていただくためには、皆様に拓かれた役員選挙が必要不可欠だと思います。 この想いの実現のため、この度立候補させていただいた所存であります。皆様何卒よろしくお願いいたします。	

理事候補	北山 朋宏	錦海リハビリテーション病院
	教育部長として3期、それに加えて前回は副会長を兼務させていただきました。そのため鳥取県士会だけでなく全国に目を向ける機会が多くなり、日本作業療法士協会の課題が、いくつか見えてきたように思います。その内の一つが、学術の発展と技能の向上についてです。令和7年度から段階的に新生涯学修制度が始まります。この制度をしっかりと活用することで、作業療法士は国から必要とされる職能団体として認められるようになる必要があります。そうなることが己の身を助けることに繋がります。是非県士会員にとって学びの多い鳥取県作業療法士会にしていきたいという強い気持ちで4期目に臨みたいと考えております。	

理事候補	村瀬 良知	医療法人YBC よなご脳神経クリニック
	私は鳥取県作業療法士会における地域包括ケアシステム委員会で約9年間活動してきました。活動を通して、地域包括ケアシステム構築に参画する作業療法士同士のネットワーク形成・情報共有の不足や、制度・政策面での支援不足、さらに各活動の効果測定とフィードバック体制の構築がまだまだ不十分であることがわかりました。また、精神・発達領域など他分野との連携を促進するための教育機会が不足し、県内の作業療法士において共生意識が十分に根付いていない現状もあるのではないかと感じております。理事に選出していただいた際は、最新情報の共有や成功事例の発信、支援制度の整備、評価システムの構築、そして多職種連携の強化により、鳥取県作業療法士会会員の地域参画を促進し、地域包括ケアの発展と地域共生社会の実現に努めたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。	